

2026年
4月スタート

明星 Institution 中等教育部 (共学校)

多摩から 世界のリーダーを輩出します

2026年4月、多摩の地に新たな学びの場が生まれます。
それが明星Institution中等教育部です。
そこではどのような教育がめざされるのか、
井上一紀校長先生にうかがいました。

School Information 所在地：東京都府中市栄町1-1
アクセス：JR中央線「国分寺駅」・京王線「府中駅」バス7分、JR武蔵野線「北府中駅」徒歩15分
T E L: 042-368-5117 U R L: <https://institution.meisei.ac.jp/>

いのうえ かず のり
井上一紀校長先生

◎育てたい生徒像

日本をよりよいものとし
世界をリードする人材

◎教育のキーワード

グローバル

世界を身近に感じる環境

主体性

自らの人生を歩んでいくための力

第4の人間力

自身の助けとなるセレンディビティーを
引き寄せる力

◎教育の流れ

Aブロック(中1・中2)

基礎力を身につけ、
社会のなかの自分に目を向ける

Bブロック(中3・高1)

思考力や想像力を涵養し、
アイデンティティーを確立する

Cブロック(高2・高3)

文系コース、理系コースに分かれ、
各々の「理想」へ一歩を踏み出す

世界を身近に感じる環境で 第4の人間力を育成したい

◎2026年4月に、明星Institution
中等教育部(以下、明星Institution)
がスタートしますね。

明星学苑は創立から100年以上
の歴史を紡ぐなかで、校是「実践躬行」
(自分で行動して考えること)を大切
にしつつ、時代の変化に柔軟に対応
してきた学校です。そこに新しく中
等教育部、明星Institutionが誕生し
ます。

Institutionという名前の由来は、私
が交流を重ねてきたシンガポールの
学校、Raffles Institutionです。この
学校は、平等の概念をベースに、民
族の違いを乗り越えて多文化社会を
実現し、そのうえで世界を舞台に活
躍する人材の育成をめざしています。

明星Institutionも「グローバル」
を「当たり前」のものとして、世界
を身近に感じられる環境を提供しま
す。そして、これからの日本をより
よいものに導き、世界をリードする
人材を育てていきます。

◎井上校長先生は、実際にシンガポ
ールに赴任されていたのですか。

私は、渋谷教育学園のシンガポー
ル校開校と同時に赴任し、5年間教

引き寄せるためにも、まずは自分を
磨くことが求められます。

段階を踏んだ指導を行い グローバル教育にも注力

◎学びの流れを教えてください。

6年間を2年ずつの3ブロックに
分けて教育を展開します。

中1・中2のAブロックは、基礎
力の定着が第一です。加えて、社会
に目を向け、その時点での自らの立
ち位置を把握します。

中3・高1のBブロックは、基礎
力をベースに、思考力や想像力を伸
ばし、徐々に答えのない問題にも挑
戦していきます。さらに、社会にお
ける自身の役割とはなにか、どんな
特技や能力があり、それをどう活か
せるのかを考えながら、アイデンテ
ィティーの確立をめざします。

高2・高3のCブロックでは、文系
理系のコースに分かれ、それぞれの
進路実現に向けて学力を高めます。
その進路とは、生徒自身が見つけた
「理想」への第一歩となるものでなけ
ればなりません。

その理想を探すためのキャリア教
育は、「グローバル」「リーダーシップ」
「先見性」「知的好奇心」をキーワー
ドに展開する予定です。

鞭を執りました。そこでの経験も活
かし、明星Institutionの教育を組み立
てます。

私と同じ志を持つ、元渋谷教育学
園の教員や、教員となった卒業生も
集まり、力を貸してくれています。

◎どのような教育をめざしておられ
ますか。

生徒の主体性を大切にする教育で
す。授業はもちろん、行事や部活動
でも、生徒が自分の頭で考える機会
を豊富に設けます。

また、人間力の育成にも力を入れ
ます。人間力には「知的能力的要素」
「社会・対人関係力的要素」「自己制
御的要素」などがありますが、本校
は「第4の人間力」も重視します。

「第4の人間力」は、自己の限界ま
で取り組む心、多様な人や考え方に
対して、柔軟性と優しさを持つて対
応する姿勢、鋭い洞察力などをさし
ます。これらの力を備えていれば、
1人では乗り越えるのが困難な高い
壁に出会っても、他者が手を差しの
べサポートしてくれる「偶然の力(セ
レンディビティー)」を呼び寄せるこ
とができるでしょう。

生徒たちはこれから多くの困難に
立ち向かうはずですから、セレンデ
ィビティーが助けとなります。力を

◎「グローバル」にかかわる取り組み
としては、どんなものを予定されて
いますか。

海外研修や国際交流の機会を多く
設けます。こうしたプログラム、そ
して日々の英語や第二外国語の授業
を通じて、知らない世界があること
異なる価値観を持つ人々がいること
に気づききっかけを与えていきます。
語学力を磨くだけではなく、「Peace
Maker(平和を作る人)」へと生徒を
導くのが、明星Institutionの使命だと
考えています。

◎読者に向けてメッセージをお願い
します。

どのように生きるべきか、人生に
正解は示されません。様々なことを
自分で判断、選択しながら歩んでい
かなければならないのです。ですが
ら、学校生活も自分の手で作ってい
く、そうした意識を持つてくれたら
嬉しく思います。みなさんのこれか
らにつながる、新たな教育の場を作
りあげます。

◇
グローバルが当たり前にある環境
を整え、自分の力で人生を歩んでい
ける生徒の育成をめざす明星
Institution。その誕生に向け、着々と
準備が進められています。

※2002年より、早稲田大学との共同運営となり、早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校と校名を変更。